資料１―２

令和７年度　大阪市障がい者等基礎調査　精神科病院入院者を対象とした調査について

1.　調査対象

大阪府内の精神科病院において、入院前の住所が大阪市内であり、調査時点で入院中の18歳以上の方

2.　調査実施方法

（１）　アンケート送付数…180人

（２）　目標回収見込み数…100人

（３）　対象病院数…15病院

【考え方】

・初めての取り組みであり、病院への説明を丁寧に行うため、病院数を絞る

・調査の精度を高めるには、病院スタッフによる記載支援が必要なため、調査依頼数を絞る

・調査結果において一定の信頼性を確保するために100人分の回収をめざす

・100人分の調査票を回収するため、大精協役員病院である13病院に10人分の調査を依頼する

・公的医療機関として一定の役割を果たしていただくために２病院を追加依頼する

・100人分の回収を確保するため、ワーキング会議メンバーの３病院※には20人分を依頼する

参考

調査対象病院及び依頼数

対象病院		依頼数	
大阪精神科病院協会	ねや川サナトリウム	10人	
	浜寺病院	10人	
	七山病院	10人	
	さわ病院	20人	※
	茨木病院	10人	
	榎坂病院	20人	※
	大阪さやま病院	10人	
	新阿武山病院	10人	
	新生会病院	10人	
	京阪病院	10人	
	丹比荘病院	10人	
	金岡中央病院	10人	
	久米田病院	10人	
公的病院	大阪精神医療センター	20人	※
	大阪市立総合医療センター	10人	
計		180人	